

基礎・応用研究開発 (H19~H20)

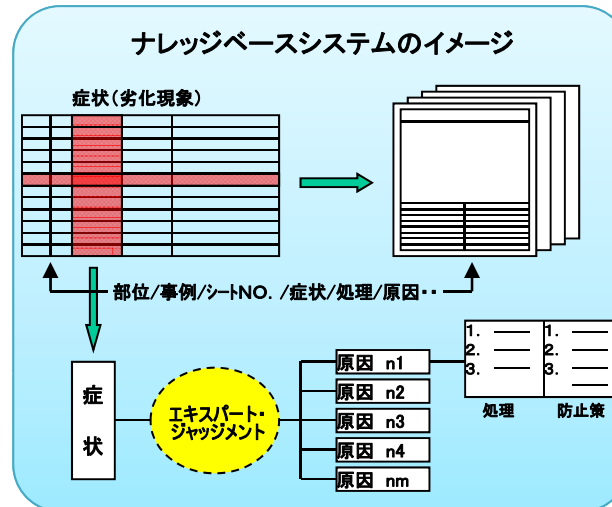
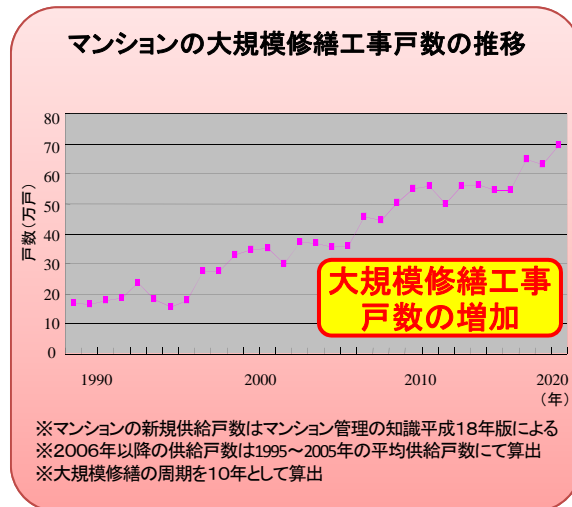
# 「集合住宅の劣化診断及び蘇生技術適用に資するナレッジベースの研究開発」

東京大学大学院工学系研究科 松村 秀一教授

(研究分担:東京工芸大学、早稲田大学、東京理科大学、リニューアル技術開発協会、建築技術支援協会、(株)AGデザイン)

## — 研究開発概要 —

- **ストック再生型産業への転換、今後急増する大規模改修需要**による体系的なナレッジベースの確立が必要  
→複数の専門家による検討会形式の知識集積・集約作業し、「劣化現象—原因—処置」の雛型を確立
- **信頼性の高い業界の健全な形成**のために劣化診断・蘇生技術に関するナレッジベースシステムを構築  
→一般に普及させるため広範な利用に供する形に実現



### ホームページによる閲覧及び検索

**検索画面**

**結果画面**

## — 研究開発成果・今後の展開 —

- 築10~40年の集合住宅を対象に起こりうる**典型的な劣化現象**データの分析:約1万事例を**躯体関係**と**設備関係**に分けて整理(**網羅性**)
- 劣化現象に対する**原因特定**と**最適な処置法**の選択・提案:複数の**専門家の討議**による知識集積・集約作業(**信頼性**)
- :ネット上で利用可能な**ナレッジベースシステム**の雛形を構築:視覚的な劣化現象から容易に引き出せるナレッジベースのアクセス(**容易性**)
- **ナレッジベースを一般公開することにより、誰でも・何処からでも利用可能**

研究の詳細はコチラ→ [smatsu@buildcon.arch.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:smatsu@buildcon.arch.t.u-tokyo.ac.jp)